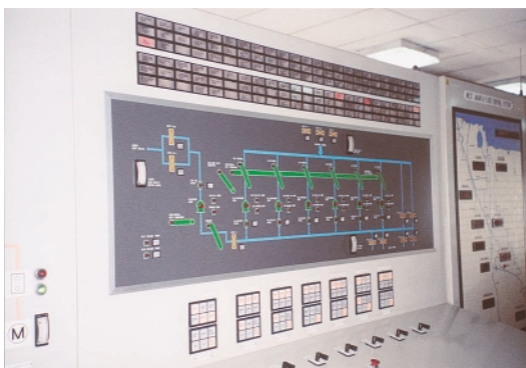


西ジャカルタ洪水制御事業(X)



サリナ・タムリンポンプ場内のコントロールパネル

借款概要

承諾額/実行額	11,049百万円/6,000百万円
借款契約調印	1983年10月及び1984年6月
借款契約条件	金利3%/3.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1991年10月及び1992年5月

事業概要

西ジャカルタ地域の洪水氾濫を制御するため、サリナ・タムリン排水ポンプ場、グロゴール・セクレタリス捷水路を建設するもの。

評価結果

アプレイザル前の10年間には6回の大規模な洪水が発生していたが、本事業完成以降はこれまで1996年1月と2月の1回ずつ発生したのみであった。この間、ジャカルタ市及び上流域における降雨パターンに特別な変化がなく、100mm/日を超える強雨も依然として発生したこと、及び上流部から事業対象地域にかけて他には洪水制御案件がないことを鑑みれば、本事業がジャカルタ市の洪水制御に大きく貢献していることは明らかである。

運営維持管理はジャカルタ特別市庁の公共事業局が担当しており、予算は、政府および同市庁の双方から割り当てられている。同市庁公共事業局は定期的に水路からゴミの撤去を実施しているが、浮遊ゴミを塞ぎ止めるため設置したスクリーンの一部に一時的にゴミが溜まっており、同市においてゴミ収集体制にかかる予算措置の拡充等の対策が必要と考えられる。